鎌ケ谷市 ハザードマップ（情報版）

Kamagaya City Hazard Map

お問い合わせ
鎌ケ谷市役所 市民生活部 安全対策課
〒273-0195　鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1 市庁舎１階
TEL：047-445-1278　FAX：047-445-1400
URL：https://www.city.kamagaya.chiba.jp/

このハザードマップは、大雨で河川が氾濫を起こしたときや低地などに雨水が溜まったときの浸水の予想、各地区の避難所等、避難や防災に関する情報などをまとめたものです。

水害が発生するおそれがある場合には、市役所などから「高齢者等避難」や「避難指示」、「緊急安全確保」の情報が出されますので、速やかに避難などの行動をとってください。

また、市内には土砂災害が発生するおそれがある場所もありますので、注意をお願いします。

日ごろからこのハザードマップを活用して、浸水が起こりそうな場所や浸水する深さなどを把握し、雨の降り方や浸水状況に注意して危険を感じたら早めに自主避難を始めるように心がけましょう。

鎌ケ谷市WEBハザードマップ

パソコンやスマートフォンで浸水想定区域や土砂災害警戒区域、避難場所・避難所などを見ることができます。

入口はこちら ＞

防災関係機関一覧

消防・救急 119　警察 110

	名称	住所	電話番号	索引
行政機関	鎌ケ谷市役所	新鎌ケ谷2-6-1	445-1141	G-7
	消防本部	右京塚10-12	444-3221	G-10
	中央消防署	右京塚10-2	444-3222	G-10
	くぬぎ山消防署	初富23-72	442-1119	C-6
	鎌ケ谷消防署	初富928-472	442-6119	G-6
	鎌ケ谷警察署	新鎌ケ谷4-8-35	444-0110	G-6
	鎌ケ谷大仏交番	鎌ケ谷1-5-40	442-4083	I-11
	鎌ケ谷駅前交番	道野辺中央2-1-28	444-3231	F-10
	粟野交番	粟野614-3	443-9223	G-5
	くぬぎ山交番	初富86-10	442-3523	B-6
	新鎌ケ谷駅前交番	新鎌ケ谷2-8-1	442-1619	F-7
医療機関	鎌ケ谷総合病院	初富929-6	498-8111	F-7
	東邦鎌谷病院	粟野594	445-6411	G-4
	秋元病院	初富808-54	446-8100	I-7
	第２北総病院	初富803	445-5552	J-7
	初富保健病院	初富114	442-0811	D-6

災害用伝言サービス

災害発生時、通信の増加で被災地に電話がつながりにくくなった場合に、安否確認などができるサービスです。

◆災害用伝言ダイヤル171

- NTT東日本が運営する「声の伝言板」です。
- 電話で伝言を録音、再生できます（1伝言30秒以内）。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
171をダイヤル	171をダイヤル
▼ガイダンスが流れます	▼ガイダンスが流れます
1をダイヤル	2をダイヤル
▼ガイダンスが流れます	▼ガイダンスが流れます
XXX-XXX-XXXX 被災地の方は自宅の電話番号をダイヤル	XXX-XXX-XXXX 連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤル
▼ガイダンスが流れます	▼ガイダンスが流れます
伝言を録音	伝言を再生

◆災害用伝言板（web171）

- NTT東日本が運営する「文字の伝言板」です。
- パソコンやスマートフォンから、文字で安否情報を登録、確認することができます（1伝言100文字まで）。
- 詳しくは、NTT東日本のホームページで確認しておきましょう。

◆災害用伝言板

- 携帯電話各社が運営する「文字の伝言板」です。
- 携帯電話やスマートフォンから、文字で安否情報を登録、確認することができます（1伝言 100文字まで）。
- 詳しくは、携帯電話各社のホームページで確認しておきましょう。

安全に避難しよう　避難時の心得

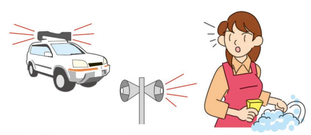
❶ 正確な情報収集と自主的避難を

ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

❷ 地下室にいるときは

地下室では外の様子がわかりにくいので、大雨のときはテレビやラジオの情報に注意し、雨の状況を確認しましょう。
（大雨のときは地下室に雨水が流入する危険性がありますので、十分注意しましょう）

❸ 避難の呼びかけに注意を



危険が迫ったときには、市役所などから防災行政無線などで避難の呼びかけをすることがありますので、速やかに避難しましょう。

❹ 避難する前に

避難先として、開設中の避難所等や、知人・親戚宅などを確認しましょう（避難所等は必ず全て開設されるわけではありません）。
また、避難する前に、電気・ガスなどの火元を消しましょう。

❺ お年寄りなどの避難にご協力を

お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

❻ 動きやすい格好、２人以上での避難

避難するときは動きやすい格好で、長靴ではなく運動靴を履きましょう。また、2人以上での避難を心がけましょう。

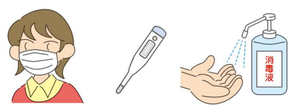
❼ 杖などで安全を確認しながら歩きましょう

避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、杖などの長い棒で水の中の側溝やマンホールに注意しながら歩きましょう。
また、がけ地などでは土砂災害に注意しましょう。

❽ 車での避難は控えましょう

車での避難は、渋滞して緊急車両の妨げになります。また、道路が冠水していたり、避難所等には十分な駐車スペースがないので、特別な場合を除き控えましょう。

❾ 感染症対策にご協力を



避難所等では、マスクの着用やこまめな手洗い、手指消毒など、感染症対策にご協力をお願いします。

災害が起きる前に準備しよう　日頃の備え

❶ 非常持出品の準備・点検をしておきましょう

貴重品

□現金　□預貯金通帳　□印鑑　□免許証　□権利証書　□健康保険証　など

災害時には、停電などでキャッシュレス決済が利用できなくなることがあります。

非常食品

□カンパン・缶詰など（調理せずにそのまま食べられる物）
□水（１人１日３リットルを最低３日分、推奨１週間分）□水筒
□皿やコップ（プラスチックか紙製）□わりばし　□缶切り　□栓抜き
□缶詰やびん詰の離乳食　□粉ミルク　□レトルトのおかゆ（乳幼児・お年寄り用）

避難用具

□懐中電灯　□携帯ラジオ　□予備電池（多めに用意）

応急医薬品

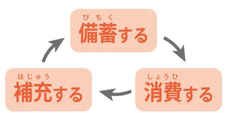
□ばんそうこう　□傷薬　□包帯　□胃腸薬　□鎮痛剤　□解熱剤　□目薬
□外傷消毒液など　□持病用の常備薬（持病のある人は忘れずに用意を）

その他、生活用品

□衣類（下着・上着・靴下など）□軍手　□タオル　□ティッシュペーパー
□雨具　□ライター　□ビニール袋　□生理用品　□紙おむつ
□マスク　□手指消毒液　など

◆ローリングストック（循環備蓄）を実践しましょう

缶詰やレトルト食品、トイレットペーパーなど、最初に多めに購入して、日常生活で消費した分を補充する方法です。
これを実践すれば、常に一定量を備蓄することができ、消費期限切れを防ぐことができます。



❷ 避難先や安全な避難経路を確認しておきましょう

このハザードマップで避難先を確認した上で、避難先までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

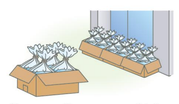
❸ 家のまわりの点検・整備をしておきましょう

家のまわりに排水を妨げるものがないか確認しておきましょう。側溝や雨水ますが詰まると冠水や浸水の原因になりますので、日頃から清掃などを行いましょう。

❹「水のう」の作り方を知っておきましょう

建物の出入口などからの浸水を防ぐために、市役所では「土のう」を事前に配布しますが、小規模な浸水であれば、家庭にあるもので作ることができる「水のう」でも浸水を防ぐことができます。

家庭用の40リットル程度のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れ、口をしっかり縛ります。



段ボール箱に入れて利用すると強度が増します。

避難の情報や気象の知識を知ろう　防災に関する情報・知識

■避難情報

鎌ケ谷市では、災害の発生するおそれが高まったと判断したときに、下記の種類の避難情報を発令します。

警戒レベル	避難情報等		とるべき行動	市からの呼びかけの内容
警戒レベル5	緊急安全確保	鎌ケ谷市が発令	既に災害が発生、または切迫しているので **直ちに命を守る行動をとる（垂直避難）**	①発令対象地域　②発令理由　③注意事項（水平避難が危険な場合は垂直避難を勧奨など）
警戒レベル4	避難指示		災害発生のおそれが高いので **危険な場所から全員避難（水平避難）**	①避難対象地域　②避難先　③避難経路　④発令理由　⑤注意事項（戸締まり、携行品）
警戒レベル3	高齢者等避難		高齢者の方など……**避難を開始する** その他の方……**避難準備をする**	
警戒レベル2	注意報	気象庁が発表	ハザードマップを見て **避難行動を確認する**	
警戒レベル1	早期注意情報（警報級の可能性）		天気予報などを見て **災害への心構えを高める**	

警戒レベル4までに **必ず避難してください！**

◆水平避難と垂直避難

●水平避難
水害が発生する前に、避難所等や知人・親戚宅など浸水しない地域に避難すること。

●垂直避難
急激な降雨や浸水により、外に出て移動することがかえって危険な場合に、自宅や近隣の建物の2階以上へ避難すること。

■警報・注意報などの情報

大雨により災害が発生するおそれが高まった場合、気象庁から大雨に関する特別警報・警報・注意報や気象情報が発表されます（それぞれ警戒レベルと対応しています）。

種類	内容	警戒レベル
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合に発表	警戒レベル5相当
土砂災害警戒情報	大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに発表	警戒レベル4相当
大雨警報	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表	警戒レベル3相当
洪水警報	河川の増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	警戒レベル3相当
大雨注意報	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表	警戒レベル2
洪水注意報	河川の増水により洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	警戒レベル2
早期注意情報（警報級の可能性）	警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を［高］、［中］の2段階で発表	警戒レベル1
記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときに発表（気象情報）	

■風・雨の階級と台風について

◆風の強さと吹き方

下の表は、風の強さと人や車への影響を示したものです。天気予報などで風速や風の強さの情報を聞いたら、風の吹き方をイメージして、外出を控えるなどの対策をとりましょう。

平均風速※	10～15m/s	15～20m/s	20～25m/s	25～30m/s	30～35m/s	35～40m/s	40m/s～
風の強さ	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風		
人や車への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。	何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。	走行中のトラックが横転する。2019年9月に千葉県を中心に大規模な停電の発生をもたらした台風15号が上陸した時には、千葉市で最大瞬間風速57.5m/sを記録しました。		
おおよその瞬間風速※	20m/s	30m/s	40m/s	50m/s	60m/s		

※風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

・平均風速：10分間の平均
・瞬間風速：3秒間の平均

◆雨の強さと降り方

下の表は、雨の強さとそのときに発生しうる災害の状況を示したものです。普段から雨の様子に注意しましょう。

1時間の雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm～
雨の強さ	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の降り方	ザーザーと降り地面一面に水たまりができる。	どしゃぶりの雨。傘をさしていてもぬれる。	バケツをひっくり返したような激しい雨。	滝のように降り、水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
災害の状況	雨が長く続くときは注意が必要である。	側溝や下水、小さな川があふれることがある。	道路が川のようになり、下水管から雨水があふれ出る。	水害発生の危険性が高まる。マンホールから水が噴出する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要である。

気象庁ホームページ「天気予報で用いる用語」等をもとに作成

◆台風の大きさと強さ

台風とは、北西太平洋で発生した熱帯低気圧のうち、最大風速がおよそ17m/s以上のものをいいます。
台風の勢力の目安は、
・大きさ：強風域の半径
・強　さ：最大風速
で表されます。

・強風域：台風の周辺で平均風速が15m/s以上の範囲
・暴風域：台風の周辺で平均風速が25m/s以上の範囲

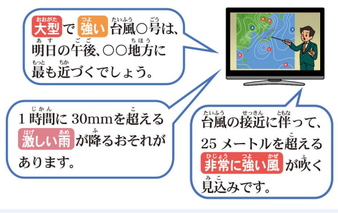
●台風の大きさの階級

階級	強風域の半径
超大型（非常に大きい）	800km以上
大型（大きい）	500km以上～800km未満

●台風の強さの階級

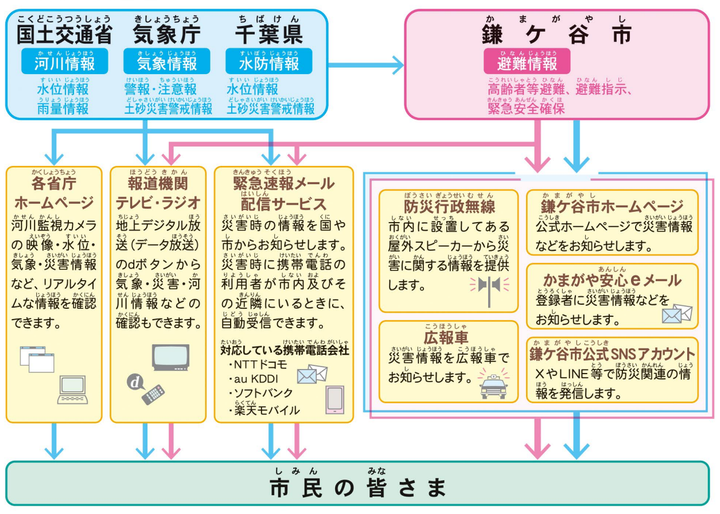
階級	最大風速
猛烈な	54m/s以上
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
強い	33m/s以上～44m/s未満

◆天気予報などでの「階級」の使われ方の例



自ら情報を収集しよう　情報の入手方法

■情報の伝達経路



■かまがや安心eメール

このサービスは、鎌ケ谷市の防災情報を、携帯電話やスマートフォン、パソコンへ電子メールで提供するものです。

配信する情報
- 風水害時：気象警報、台風情報などの気象情報
- 地震発生時：被害状況や災害対策情報等の災害対策本部からの情報、震度4以上の地震情報

登録方法
1. 右記の仮登録用アドレスへ空メールを送信してください。
2. 本登録ご案内のメールが届きますので、そのメールに記載されたURLへ接続し、必要事項を入力してください。
3. 登録完了のメールが届きます。

kama.bousai@mpme.jp

■防災テレフォンサービス

防災行政無線から放送された災害に関する情報の内容を聞き取れなかった場合や、聞き逃してしまった場合には、電話で確認することができます（無料）。

0800-800-2760

■大雨や河川、避難に関する情報の入手先

大雨や河川、避難に関する情報は、各機関のホームページで公開しています。

◆キキクル（警報の危険度分布）　気象庁

気象庁は、大雨による災害発生の危険度の高まりを地図上で確認できる「危険度分布」（愛称「キキクル」）を公開しています。

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level

「キキクル」の特徴
●大雨による災害の危険度を5段階で色分けして、地図上に随時更新して表示
●「土砂災害」、「浸水害」、「洪水害」の3種類の災害ごとに危険度を表示

「キキクル」の表示画面の例

崖崩れなどの土砂災害発生の危険度を「面」で表示
内水氾濫※発生の危険度を「面」で表示
河川の増水や氾濫が発生する危険度を川の「線」で表示

※下水道の排水能力を超える大雨が短時間で降ったことなどが原因で発生する水害

◆川の防災情報　国土交通省

河川の状況を撮影したライブカメラ画像や、観測所の水位などを調べることができます。

https://www.river.go.jp/

◆千葉県防災ポータルサイト　千葉県

千葉県内の緊急情報・防災気象情報・地震情報・ライフライン情報などをまとめて提供しています。

https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/

◆鎌ケ谷市ホームページ　鎌ケ谷市

緊急情報を発信する時には、トップページ上部の「緊急情報」に内容を表示します。

https://www.city.kamagaya.chiba.jp/

■外国人生活支援ポータルサイト

A DAILY LIFE SUPPORT PORTAL FOR FOREIGN NATIONALS

出入国在留管理庁 Immigration Services Agency

このポータルサイトは、日本に在住する外国人の方々とその支援者の方々のために、災害時に役立つ情報などを様々な言語で提供しています。

This PORTAL provides useful information in times of disaster for foreign nationals residing in Japan and their supporters in various languages.

内容 Contents

●災害や感染症に関する最新情報
The latest information on disasters and infectious diseases

●生活・就労ガイドブック
Guidebook on Living and Working

「緊急・災害」、「教育」、「医療」など、生活に必要な情報を12項目にわたり、わかりやすく説明しています。

Easy to understand information in 12 topics such as emergencies and disasters prevention, education, health and more.

出典：出入国在留管理庁ホームページ　Source: Immigration Services Agency website

様々な言語 Various languages

・日本語 Japanese	・ベトナム語 Vietnamese	・モンゴル語 Mongolian
・やさしいにほんご Plain Japanese	・ネパール語 Nepali	・トルコ語 Turkish
・英語 English	・タイ語 Thai	・ウクライナ語 Ukrainian
・中国語 Chinese	・インドネシア語 Indonesian	・ロシア語 Russian
・韓国語 Korean	・ミャンマー語 Burmese	・フランス語 French
・スペイン語 Spanish	・クメール(カンボジア)語 Khmer (Cambodian)	・ヒンディー語 Hindi
・ポルトガル語 Portuguese	・フィリピノ語 Filipino	など etc.

https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/